

平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月10日

上場会社名 株式会社レイ 上場取引所 東
 コード番号 4317 URL http://www.ray.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)分部 至郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)中村 準三 (TEL)03(5410)3861
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	7,778	△1.5	482	△30.2	457	△29.0	248	△27.6
25年2月期第3四半期	7,900	17.8	691	23.7	644	25.3	343	59.8

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 251百万円(△26.5%) 25年2月期第3四半期 342百万円(61.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	19.48	19.35
25年2月期第3四半期	26.93	26.75

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	8,517	2,879	33.5
25年2月期	7,128	2,715	37.6

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 2,856百万円 25年2月期 2,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	0 00	—	6 00	6 00
26年2月期	—	0 00	—		
26年2月期(予想)				4 00	4 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年2月期の連結業績予想(平成25年3月1日～平成26年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	△2.0	555	△16.8	500	△18.3	280	△37.4	22 00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期3Q	14,328,976株	25年2月期	14,328,976株
26年2月期3Q	1,573,962株	25年2月期	1,575,962株
26年2月期3Q	12,753,170株	25年2月期3Q	12,741,828株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(6) 経営上の重要な契約等	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融市場の改善や大胆な経済対策効果を背景に、景気は緩やかに回復しつつありますが、欧州の財政不安や新興国経済の減速等、世界経済を巡る不確実性は引き続き大きいことや今春の消費税増税の影響等もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの主要な市場である広告業界におきましても、回復傾向が見られているものの、上述のような経済環境の影響等により、本格的な回復にはまだ時間を要するものと思われ、広告主各社の広告支出への慎重な姿勢（コスト環境）に大きな変化はない状況にあります。

このような経済、市場環境のもと、当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は7,778百万円（前年同期比1.5%減）、営業利益は482百万円（同30.2%減）、経常利益は457百万円（同29.0%減）、四半期純利益は248百万円（同27.6%減）となりました。

当社グループのセグメントの業績は次のとおりであります。

広告ソリューション事業におきましてSP（セールスプロモーション）・イベント部門は、景気の復調傾向の影響や第3四半期連結会計期間がイベント・展示会が多く開催される時期でもあることから業績に改善が見られましたが、TVCM（テレビコマーシャル）部門は、厳しいコスト環境の影響等により苦戦が続いており、この結果広告ソリューション事業の売上高は、3,873百万円（同0.9%増）、営業利益は261百万円（同19.9%減）となりました。

テクニカルソリューション事業におきましてポストプロダクション部門は、編集スタジオの稼働状況は堅調に推移しておりますが、コスト環境は引き続き厳しい状況にありました。また映像機器レンタル部門は、第3四半期連結会計期間がイベント・展示会の繁忙期であったことから、業績には改善が見られはじめました。しかしながら、東日本大震災の反動増等の影響により好調だった前年同期の業績までには至らず、この結果テクニカルソリューション事業の売上高は、3,904百万円（同3.8%減）、営業利益は611百万円（同12.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の状況

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて34.6%増加し5,277百万円となりました。これは主に、繰延税金資産が24百万円、受取手形が15百万円減少したものの、売掛金が791百万円、現金及び預金が464百万円、たな卸資産が193百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて1.0%増加し3,239百万円となりました。これは主に、敷金及び保証金が41百万円、有形固定資産が36百万円、繰延税金資産が33百万円減少したものの、投資有価証券が126百万円、出資金が21百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて19.5%増加し8,517百万円となりました。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて48.1%増加し4,198百万円となりました。これは主に、賞与引当金が86百万円、未払金が77百万円、1年内返済予定の長期借入金が41百万円減少したものの、短期借入金が800百万円、買掛金が552百万円、リース債務が55百万円、未払法人税等が52百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて8.8%減少し1,438百万円となりました。これは主に、長期借入金が141百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて27.7%増加し5,637百万円となりました

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度末に比べて6.1%増加し2,879百万円となりました。これは主に、配当により76百万円減少したものの、四半期純利益の計上248百万円により利益剰余金が171百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年2月期の連結業績予想につきましては、平成25年4月12日に公表しました業績予想に変更はありません。

※ 上記予想は、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る現時点における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(会計上の見積の変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	731,676	1,196,403
受取手形	276,614	260,700
売掛金	2,264,053	3,055,885
たな卸資産	236,144	429,266
繰延税金資産	160,425	136,361
前払費用	71,484	88,929
その他	188,599	119,606
貸倒引当金	△9,658	△9,775
流動資産合計	3,919,339	5,277,377
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	698,364	704,922
減価償却累計額	△112,911	△147,494
建物及び構築物(純額)	585,453	557,427
機械装置及び運搬具	924,322	934,710
減価償却累計額	△654,937	△713,144
機械装置及び運搬具(純額)	269,385	221,565
工具、器具及び備品	242,418	243,820
減価償却累計額	△188,908	△206,096
工具、器具及び備品(純額)	53,509	37,723
土地	1,109,883	1,109,883
リース資産	1,008,891	1,219,819
減価償却累計額	△260,443	△415,964
リース資産(純額)	748,448	803,854
有形固定資産合計	2,766,679	2,730,454
無形固定資産		
ソフトウェア	58,585	48,655
その他	7,678	7,648
無形固定資産合計	66,263	56,304
投資その他の資産		
投資有価証券	40,047	166,947
出資金	50	21,940
長期貸付金	5,018	5,918
破産更生債権等	33,014	31,114
長期前払費用	1,239	3,329
敷金及び保証金	207,412	166,359
保険積立金	49,473	49,473
繰延税金資産	77,197	43,377
その他	900	900
貸倒引当金	△38,033	△36,132
投資その他の資産合計	376,322	453,228
固定資産合計	3,209,264	3,239,986
資産合計	7,128,604	8,517,364

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	888,128	1,440,330
短期借入金	800,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	260,800	219,134
リース債務	259,258	314,715
未払法人税等	45,229	97,742
賞与引当金	176,631	90,419
未払金	296,971	219,061
未払消費税等	21,333	60,141
未払費用	50,594	56,663
預り金	19,543	39,658
その他	16,777	61,022
流動負債合計	2,835,269	4,198,889
固定負債		
長期借入金	1,012,834	871,600
リース債務	533,240	534,903
その他	32,081	32,240
固定負債合計	1,578,155	1,438,743
負債合計	4,413,425	5,637,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	471,143	471,143
資本剰余金	473,719	473,833
利益剰余金	2,006,748	2,178,623
自己株式	△270,971	△270,627
株主資本合計	2,680,639	2,852,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	257	3,325
その他の包括利益累計額合計	257	3,325
新株予約権	34,282	23,433
純資産合計	2,715,178	2,879,730
負債純資産合計	7,128,604	8,517,364

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
売上高	7,900,135	7,778,096
売上原価	5,399,549	5,404,005
売上総利益	2,500,585	2,374,090
販売費及び一般管理費	1,809,320	1,891,794
営業利益	691,265	482,296
営業外収益		
受取利息	62	84
受取配当金	1,918	1,952
為替差益	—	4,016
還付加算金	237	3,727
その他	4,974	5,659
営業外収益合計	7,193	15,440
営業外費用		
支払利息	27,538	22,096
出資金運用損	19,053	14,638
その他	6,908	3,221
営業外費用合計	53,501	39,957
経常利益	644,957	457,779
特別利益		
固定資産売却益	9,501	139
新株予約権戻入益	657	10,703
特別利益合計	10,158	10,842
特別損失		
固定資産売却損	1,683	—
固定資産除却損	482	1,407
減損損失	19,818	—
特別損失合計	21,984	1,407
税金等調整前四半期純利益	633,132	467,213
法人税、住民税及び事業税	223,334	161,619
法人税等調整額	66,709	57,201
法人税等合計	290,044	218,820
少数株主損益調整前四半期純利益	343,088	248,392
四半期純利益	343,088	248,392

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	343,088	248,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△867	3,067
その他の包括利益合計	△867	3,067
四半期包括利益	342,220	251,460
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	342,220	251,460
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,840,032	4,060,103	7,900,135	—	7,900,135
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,400	222,157	224,557	△224,557	—
計	3,842,432	4,282,260	8,124,692	△224,557	7,900,135
セグメント利益	326,739	697,486	1,024,225	△332,960	691,265

(注) 1 セグメント利益の調整額△332,960千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「テクニカルソリューション事業」において、移転予定事業所の建物等に係る減損損失19,818千円を当第3四半期連結累計期間に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	広告ソリューション事業	テクニカルソリューション事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,873,963	3,904,132	7,778,096	—	7,778,096
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,955	236,258	240,214	△240,214	—
計	3,877,919	4,140,391	8,018,310	△240,214	7,778,096
セグメント利益	261,574	611,336	872,911	△390,614	482,296

(注) 1 セグメント利益の調整額△390,614千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年3月1日以後に取得した固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間のセグメント利益に与える影響は軽微であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 経営上の重要な契約等

当社は平成25年11月19日開催の取締役会において、連結子会社である株式会社ウイズ・ブレン及びマックレイ株式会社の2社を吸収合併することを決議し、同日付で合併契約を締結いたしました。

1. 合併の目的

当社グループにおいて、株式会社レイは主にグループ各社の管理業務を行い、株式会社ウイズ・ブレン及びマックレイ株式会社はそれぞれ広告ソリューション事業、テクニカルソリューション事業といった実業務を行ってまいりましたが、この度、経営体制の効率化と管理機能の強化を目的に、両社を吸収合併することといたしました。

2. 合併の期日

平成26年3月1日（予定）

3. 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併方式で、株式会社ウイズ・ブレン、マックレイ株式会社の2社は解散いたします。

4. 合併に係る割当の内容

該当事項はありません。

5. 消滅会社の新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

6. 引継資産・負債の状況

当社は、株式会社ウイズ・ブレン及びマックレイ株式会社の一切の資産、負債及び権利義務を承継いたします。

7. 吸収合併存続会社となる会社の概要

- | | |
|-------------|-------------------------------------|
| ① 名称 | 株式会社レイ |
| ② 所在地 | 東京都港区六本木六丁目15番21号 |
| ③ 代表者の役職・氏名 | 代表取締役社長 分部 至郎 |
| ④ 主な事業内容 | セールスプロモーション等の企画・制作、各種映像編集、映像機材レンタル等 |
| ⑤ 資本金 | 471百万円 |
| ⑥ 決算期 | 2月末日 |